

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2017年10月22日 日曜日 22:33
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2017年10月22日発行

中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2017年10月22日発行

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】
<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 オリバー・マイヤー先生の英語での講義が名古屋大学で開催されます【New】
- 【3】 「土木技術者と学生の交流会」開催のご案内【情報追加】
- 【4】 産業考古学会 2017年度全国大会(名古屋)のご案内【再送】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 産業考古学会 2017年度全国大会 2017/10/27~29
 - プレ見学会 2017年10月27日(金) 午後(四日市 末広橋梁・潮吹き防波堤ほか)
 - 全国大会 2017年10月28日(土) トヨタ産業技術記念館
 - 見学会 2017年10月29日(日) 終日(松阪地区の産業遺産)
- 豊田佐吉生誕150周年記念行事 2017/11/12(日) トヨタ産業技術記念館
- 第149回例会/パネル展講演会 2017/12/03(日) 13:00~17:00 名古屋市都市センター予定

【2】 オリバー・マイヤー先生の英語での講義が名古屋大学で開催されます【New】

中部産業遺産研究会会員で、愛知教育大学教授のオリバー・マイヤー先生による産業遺産に関する英語での講義が開催されます。一般の方の参加が可能で、参加無料となっています。

ドイツご出身のマイヤー先生によるドイツと日本での産業遺産の保存と活用の事例についての英語での講義です。

講義タイトル 「Industrial Heritage in Japan and Germany」

日時 2017年11月30日 木曜日 18:30~19:30頃
場所 名古屋大学 全学教育教養教育院 1階 S1X教室
名古屋大学構内の地図はこちらから <http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/access.html>

参加費・申し込みは不要です。

マイヤー先生の講義の概要は次の通りです（原文のまま）。

“Industrial Heritage in Germany and Japan”

Germany and Japan both have a long history of industrial production. There is a lot of industrial heritage in both countries, some of which is only of interest for specialists, but other heritage sites have become major tourist attractions and can help to revitalize former industrial areas.

The presentation will show some industrial heritage, discuss the problems of preserving it, and show some successful examples.

日本語に翻訳すると

「ドイツと日本の産業遺産」

ドイツと日本はどちらも工業生産の長い歴史を持っています。両国には多くの産業遺産があり、そのうちのいくつかは専門家にとって興味深いものもあります。また、これらの遺産遺跡は主要観光スポットとなっており、かつての工業地域の再活性化にも寄与しています。

この講義では、いくつかの産業遺産の事例を示し、それらの保存についての問題を議論するとともに、いくつかの成功例を示します。

ご都合の付く方は是非ご参加頂けましたらと思います。

なお10月24日～12月12日の間に開催される全15回の講義のうち、7回以上を受講することで修了証書が発行されます。

詳細はこちらから。 <http://bio.nagoya-u.ac.jp/G30StudiumGenerale/>

また、マイヤー先生以外の先生の講義の詳細はこちらから（英文です）。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1UIg5Avaxhm6sb2yAH_oYhYaLlhksT6814g1YZzv8siY/edit#gid=0

【3】「土木技術者と学生の交流会」開催のご案内【情報追加】

名古屋工業大学において、「土木学会中部支部 平成29年度 技術者と学生の交流会 土木遺産をめぐるキミのドボク、ボクのドボク」と題した土木遺産をはじめとする土木構造物の魅力を紹介する学生によるポスターセッションが開催されます。

特に土木遺産に注目した学生によるポスターセッションです。

<https://jsce-chubu.jp/chubu/wp-content/uploads/2017/11/event-171113.pdf>

https://jsce-chubu.jp/for_public/171113

可能な方は是非、ご参加下さい。

【ご参考：ポスターの制作に学生が選んだ土木遺産ならびに土木構造物】

名城大：ハーバーブリッジ(シドニー)

豊田高専：百々貯木場(愛知県豊田市百々町1丁目81)

名工大1：庄内用水元杵樋門(愛知県名古屋市守山区大字瀬古字元杵30番2地先)

名工大2：旧稲葉地配水塔

名工大3：澱川橋梁(京都府京都市伏見区向島西堤町31-6)

名工大4：岩井橋の見込み(名古屋市中区)

名工大5：桃介橋(長野県南木曾町)

名工大6：松重閘門(愛知県名古屋市中川区)

名工大7：松重閘門(名古屋市中川区) (名工大6と名工大7は視点を変えた内容になる)

名工大8：木曾三川公園千本松原(岐阜県海津市海津町油島)

名工大9：向野橋(愛知県名古屋市中村区下米野町3丁目)

海岸研(名工大)：蜂屋調整池(岐阜県美濃加茂市山之上町)

名古屋工業大学などの学部の2年生が中心となってポスターを作っていますが、名古屋工業大学の学生は中部産業遺産研究会の「ものづくり再発見英文ガイドブック」を参考に産業遺産の調査、研究をしてポスターを作っています。

(中部産業遺産研究会から「ものづくり再発見英文ガイドブック」を名古屋工業大学都市工学科環境都市分野(昔は土木工学科だった)に100部寄贈しており、それが学部の教材として積極的に利用されています。)

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。